

平成20年度食育推進研究地域の取組

研究主題

子どもの健康を育む食育の推進 ～ 学校・家庭・地域の連携～

春日部市教育委員会

I 食育推進事業の概要

事業の趣旨

子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、「食」が重要である。従来、知育、徳育及び体育の重要性が説かれてきたが、基本となるのは、食育であると考えます。

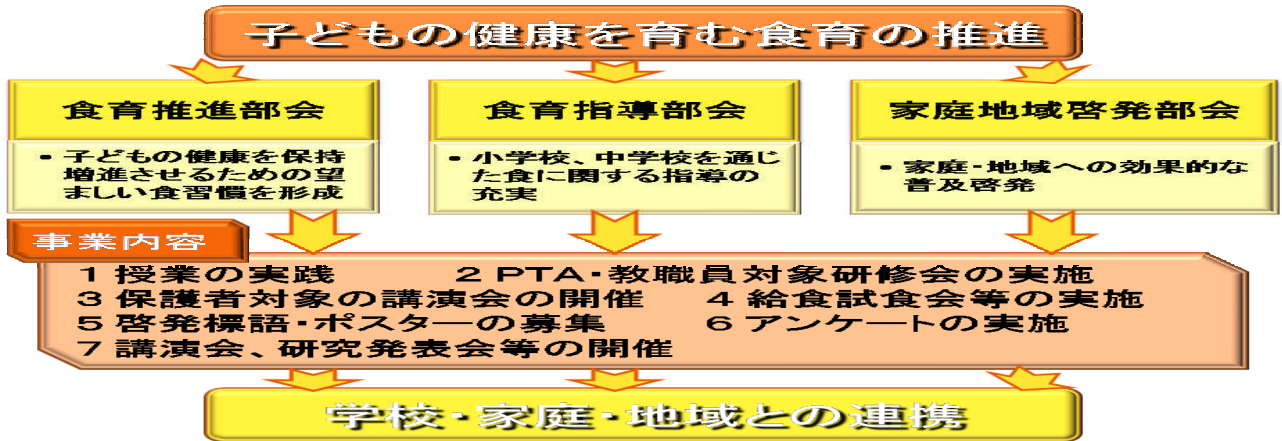
具体的な活動や経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることが求められている。特に、成長期にあたる児童生徒にとって、食育は心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである。

一方、社会の急激な変化に伴い、「食」に対する意識も大きく変化している。本市においても、栄養の偏り、不規則な食事、孤食、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの問題が各学校から報告され、「食」のあり方を学ぶことが喫緊の課題となっている。これらのことから、「子どもの健康を育む食育の推進」を研究課題として設定した。

3つのテーマ①子どもの健康を保持増進させるための望ましい食習慣を形成する方策

②小学校、中学校を通じた食に関する指導の充実 ③家庭・地域への効果的な普及啓発の方策を掲げ、栄養教諭を中心とした学校・家庭・地域の連携体制のもと子どもを取り巻く食環境の整備を図り、食育の推進に取り組んできた。

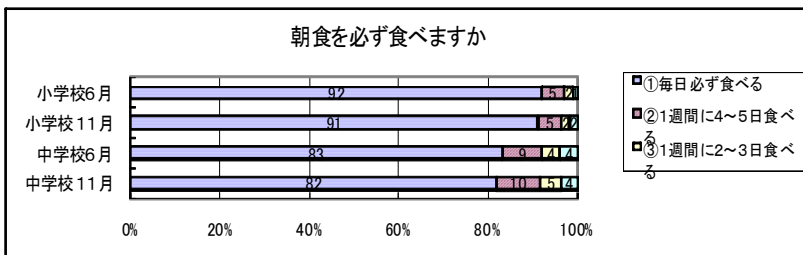
II 研究の概要



III 実践事例

1 「早寝・早起き・朝ごはん 実態調査」調査結果(市内全小・中学校各学年2クラス以上)

調査内容(例)「朝食を必ず食べますか」



小学生・中学生ともに、朝食を毎日食べる割合、欠食する割合については2回の調査結果に変化は見られない。朝食を欠食せずに食べる習慣を身に付けていく必要性を知らせていくことが課題である。(他に6調査を実施)

